

製品安全データシート

整理番号： 2008017011
作成： 2008/07/07
改訂： 2010/04/01

製品名： 浸透インク

1. 製品及び会社情報

製品名： 浸透インク

会社名： コニカミノルタIJ株式会社
住所： 〒191-8511 東京都日野市さくら町1
担当部門： 品質保証部
(TEL：042-589-3739, FAX：042-589-3868)

作成部門： コニカミノルタビジネスエキスパート株式会社 環境部
(TEL：042-589-8167, FAX：042-589-8071)

緊急連絡先： 急性中毒の恐れがある場合の緊急連絡先
(財)日本中毒情報センター 中毒110番
(大阪) 072-727-2499(情報料無料) 365日 24時間対応
(つくば) 029-852-9999(情報料無料) 365日 9時～21時対応

2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
引火性液体	区分外
急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼損傷性/刺激性	区分2A
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1

GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 強い眼刺激

注意書き： 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器(中枢神経系, 腎臓, 心臓, 呼吸器)の障害
長期または反復暴露により臓器(中枢神経系, 呼吸器, 心臓)の障害
粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
暴露した場合、医師に連絡すること。

製品安全データシート

整理番号： 2008017011

作成： 2008/07/07

改訂： 2010/04/01

製品名： 浸透インク

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物
成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS#	官報公示整理番号		安衛法 通知対象	PRTR法
			化審法	安衛法		
水	25-50	7732-18-5	対象外	対象外	非該当	非該当
プロピレングリコール	25-50	57-55-6	2-0234	化審既存	非該当	非該当
エチレングリコール	5-15	107-21-1	2-230	化審既存	安衛法通 知物質	非該当

4. 応急措置

吸入した場合： 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合： 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
水および石鹼でよく洗う。
目に入った場合： 目の刺激性が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて
容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合： 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
直ちに水で口をすすぎ、コップ 1～2 杯の水を飲ませる。医師の指示が
あった場合のみ吐かせる。医師の診察を受ける。意識のない場合は口か
ら何も与えてはならないし、無理に吐かせようとしてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤： 水噴霧、粉末、二酸化炭素、耐アルコール泡
使ってはならない消火剤： 情報なし。
特有の消火方法： 消火の際は自給式呼吸器具及び完全保護具を着用する。側面から水をか
けて容器を冷却する。作業は安全な場所から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置： 保護具を着用する（8章参照）。
立ち入り前に換気を行う。
環境に対する注意事項： 情報なし。
封じ込め及び浄化の方法、機材： 危険でなければ漏れを止める。盛土で囲って流出を防止する。
砂又は他の不燃性吸収剤で吸収し、空容器に回収する。

製品安全データシート

整理番号： 2008017011

作成： 2008/07/07

改訂： 2010/04/01

製品名： 浸透インク

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。
 局所排気・全体換気： 取扱いは十分な換気の下で行う。
 注意事項： 情報なし。
 安全取扱い注意事項： 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保管

適切な保管条件： 施錠して保管すること。
 容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
 安全な容器包装材料： 情報なし。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取扱いは密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

許容濃度

成分名称	安衛法 管理濃度	日本産業衛生学会		ACGIH	
		(ppm)	(mg/m ³)	TWA	STEL
プロピレングリコール	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定
エチレングリコール	未設定	未設定	未設定	未設定	100mg/m ³ [C]

保護具

呼吸器の保護具： 通常の条件下では必要なし。臭気が気になる場合は、防塵マスク（粉塵、ミスト用）を着用する。
 手の保護具： 不浸透性保護手袋
 目の保護具： ゴーグル等の保護眼鏡/保護面を着用すること（眼刺激性があるため）。
 皮膚及び身体の保護具： 通常の条件下では必要なし。

製品安全データシート

整理番号：2008017011

作成：2008/07/07

改訂：2010/04/01

製品名： 浸透インク

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：	液体
形状：	液体
色：	無色透明
臭い：	微特異臭
臭いの閾値：	データなし
pH：	8.0-10.0
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点と沸騰範囲：	データなし
引火点：	無し
自然発火温度：	データなし
燃焼又は爆発範囲：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度：	データなし
比重：	1.00-1.10
溶解性：	水：易溶
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
分解温度：	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常 of 取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性：	情報なし。
避けるべき条件：	情報なし。
混触危険物質：	酸化剤
危険有害な分解生成物：	一酸化炭素、二酸化炭素

製品安全データシート

整理番号： 2008017011
作成： 2008/07/07
改訂： 2010/04/01

製品名： 浸透インク

1 1. 有害性情報

製品	データなし
成分	
プロピレングリコール	
急性毒性（経口）：	LD50: 18500 mg/kg[ラット], LD50: 18350 mg/kg[モルモット], LD50: 22000 mg/kg[マウス], LD50: 20000 mg/kg[ラット]
急性毒性（経皮）：	LD50: 20800 mg/kg[ウサギ]
皮膚腐食性／刺激性：	Mild [ウサギ]
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	Minimal [ウサギ]
生殖細胞変異原性（変異原性）：	小核試験:陰性, 染色体異常試験:陰性, AMES試験:陰性
エチレングリコール	
急性毒性（経口）：	LD50: 4700 mg/kg[ラット], LD50: 7500 mg/kg[マウス]
皮膚腐食性／刺激性：	Mild [ウサギ]
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	Mild [ウサギ]
生殖細胞変異原性（変異原性）：	AMES試験:陰性, 染色体異常試験:陰性

1 2. 環境影響情報

製品	データなし
成分	
プロピレングリコール	
生態毒性	
急性毒性（魚毒性）：	96hrLC50:>100mg/l[Oryzias latipes]
急性毒性（ミジンコ毒性）：	48hrEC50:>1000mg/l[Daphnia magna]
急性毒性（藻類成長阻害）：	48hrEC50:>1000mg/l[Selenastrum capricornutum]
残留性／分解性：	良分解
エチレングリコール	
生態毒性	
急性毒性（魚毒性）：	24hrLC50: >5000mg/l -modified ASTM D 1345[Goldfish]
急性毒性（ミジンコ毒性）：	48hrEC50: 10000mg/l[Daphnia magna]
急性毒性（藻類成長阻害）：	1g/l 影響なし [Scenedesmus subspicatus]
残留性／分解性：	良分解

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 内容物/容器を法律に従い廃棄すること。
大量の場合は免許を有する廃棄物処理業者に委託する。

製品安全データシート

整理番号：2008017011

作成：2008/07/07

改訂：2010/04/01

製品名： 浸透インク

14. 輸送上の注意

国連分類： 非該当
国連番号： 非該当
国内規制： 危険物船舶運送及び貯蔵規則の危険物に該当しない。
輸送の特定の “7章 取扱い及び保管上の注意” の記載による。
安全対策及び条件：

15. 適用法令

消防法： 非該当
毒劇法： 非該当
安衛法： 名称等を通知すべき有害物
化審法： 非該当
PRTR法： 非該当

16. その他の情報

参考文献等： 化審法の既存化学物質 安全性点検データ集（化学品検査協会）
国際化学物質安全性カード 日本語版（化学工業日報社）
環境化学物質要覧（環境庁環境化学物質研究会）
新版危険・有害性便覧（中央労働災害防止協会）
RTECS (U.S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICE)

免責文： 記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。危険有害性の評価は、今後の新しい知見で改訂されることもあります。また、記載事項は当製品についての通常の取扱いを対象にしており、特別な取扱いや組み合わせの場合は用途・用法に適した安全配慮の上お取扱い願います。